

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	244.4 百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	262,187.8 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	244.4 百万円	
						交付率	45.0 %
						提案事業比率	0.0 %

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S	10,202 km ²	T	5 年
拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)		当該広域的な地域活性化基盤整備計画の計画期間	
$\pi : 3.14$		令和8年度 ~ 令和12年度	
r: 最短距離	57.0		
拠点施設から都道府県の境界までの距離	57.0 km		
拠点施設から海岸線までの距離	163.0 km		
r ₀ :	10 km		
R:	$r \geq r_0$ ゆえ、57.0 km		

C	1,028.0 万円/km ² ・年度
単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額	
行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したもの(最新5箇年の平均)	

S × C × T × 0.5 =	262,188 百万円
--------------------------	-------------

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	543 百万円	$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	488.7
	提案事業(B)	0 百万円	$\alpha 2 = 12A / 11 =$	592.4
	合計	543 百万円	$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X) : $\alpha / 2 =$	244.4 百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位: km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
白川郷合掌造り集落	15	76	15.0
飛騨古川まつり会館	38	88	38.0
奥飛騨温泉郷	25	98	25.0
下呂温泉	57	163	57.0

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値)

(単位: km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
下呂温泉	57	163

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	白川郷合掌造り集落	所在地	大野郡白川村荻町
設置主体	白川村	管理・運営主体	白川村
拠点施設の区分	法第二条第2項第三号	広域的特定活動の区分	法第二条第1項第一号 口(2)
拠点施設データ	観光入込客数 : 1,638千人 (内県内:590千人 県外:1048千人)		
拠点施設の整備の有無	-	整備期間	-
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 「白川郷合掌造り集落」は、独特の景観をなす合掌造りの集落として知られ、富山県五箇山と共にユネスコの世界遺産に登録され、国内外から多くの観光客が訪れる岐阜県を代表する「教養文化施設」である。集落内には、代表的な茅葺き合掌造りの和田家などの国指定重要文化財や、明善寺鐘樓門などの県指定文化財も存在している。 当該施設は、岐阜県飛騨地方と富山県を周遊する昇龍道プロジェクトの主要な観光施設として位置付けられている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は国道360号がアクセスルートであり、そこでは幅員狭小区間や線形不良区間があり通行に支障をきたしている。1-A11-001(国)360号中澤上工区の道路事業を行うことで安全な通行を確保しアクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「飛騨古川まつり会館」、「奥飛騨温泉郷」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 集落内にある「旧遠山家民俗館」は国指定重要文化財であり、「 <u>文化的資産の展示</u> 」を行っている。この施設では、築194年の合掌造り名主住宅で囲炉裏を囲んで、白川産古代米やお豆腐、地元で採れた山菜料理など地元食材を楽しむことができる。「野外博物館 合掌造り民家園」では、草木染め、わらざうり作り等々、郷ならではの体験をすることができる。また、国内外の観光客に対し、施設の魅力を効果的に伝えるため、「 <u>野外博物館 合掌造り民家園</u> 」の展示リニューアルを計画しており、令和9年度の完成を予定している。 毎年10月には村全体で開催される天下の奇祭白川郷「どぶろく祭」を開催しており、参拝客や遠方からの来客のひとりひとりに、今年仕込まれた「どぶろく」が振舞われ、村人と一緒に盃がかわされ、例年多くの観光客で夜更けまでにぎわっている。また、白川村が防災協定を結んでいる民間会社と協力しヘリコプターによる遊覧飛行を毎年実施しており、日本人だけでなく海外の観光客にも高評価を得ている。 これらの活動により周辺観光施設も含め観光活性化が期待できる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	飛騨古川まつり会館	所在地	岐阜県飛騨市古川町
設置主体	飛騨市	管理・運営主体	飛騨市
拠点施設の区分	省令第三条第2項第二号	広域的特定活動の区分	省令第一条第二号
拠点施設データ	令和5年観光入込客数 18千人/年 (内県内:6.5千人 県外:11.5千人)		
拠点施設の整備の有無	-	整備期間	-
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 飛騨古川まつり会館は、平成28年度にユネスコ無形文化遺産に登録された「古川祭起し太鼓・屋台行事」を体験できる「体験学習施設」である。古川祭は、古式ゆかしい神事「御神輿行列」が中心となって、「動」の「起し太鼓」と「静」の「屋台曳行」が二大祭事として加わった三つの行事群からなり、4月19日、20日の2日間に渡って盛大に繰り広げられている。起し太鼓は、4月19日の夜、裸の男たちが大太鼓を載せた櫓を担ぎ、激しくぶつかり合いながら古川の町を駆け巡る。この起し太鼓は、祭りの始まりを知らせる目覚まし太鼓が起源といわれており、時代の変化とともに今のカタチへと変化した。古川では、祭りで使用する山車のことを「屋台」と呼んでいる。町中を曳行するだけでなく、屋台の上でからくり人形や子供歌舞伎などの奉納芸も執り行われている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は国道360号がアクセスルートであり、そこでは幅員狭小区間が存在し、線形が悪いという問題がある。1-A11-001(国)360号中澤上工区の道路事業を行うことで安全で円滑な通行を確保し、アクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」及び「奥飛騨温泉郷」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
400余年の伝統をもつ古川祭は、「動」と「静」を表す祭と言われおり、「動」は、裸と裸の男がぶつかり合う、春を待ちわびたエネルギーが一気に噴き出す勇敢な裸祭「起し太鼓」、 <u>「静」は動く陽明門と呼ばれる絢爛豪華な「屋台曳行」であり、毎年多くの観光客により賑わっている。</u> 飛騨古川まつり会館は、年に一度(4月19、20日)にしか見ることが出来ない古川祭をいつでも体験できるよう整備された施設である。令和2年6月1日にリニューアルオープンを行い、4Kシアターでの映像展示に加え、 <u>飛騨古川の町並みで象徴的な「白壁土蔵街」を再現したり、「からくり人形などの奉納芸」や祭りが生み出した独自の文化である「呼び引き」といった展示を通じて、「地域固有の文化等に関する体験の機会を提供」している。</u> また、施設を活かしたイベントも多数開催している。令和7年9月6日にはイベントの一つとしてこれまで途絶えていた盆踊りの開催、令和5年度から毎年11月に来場者数が2,000人を超える「飛騨三蔵まいり」という地酒を楽しめるイベントの開催にあわせ、古川祭の屋台が動く様子を見学できる催しの開催など、古川祭とともに古川の人々や地域の魅力を感じられる施設となるような取り組みを行っており、古川祭の観光客の増加はもちろん、年間を通じた観光客の増加が見込まれている。今後も「にぎわい創出の場所」となるよう4Kシアターを活用したイベントの開催も予定している。 また、飛騨古川まつり会館オリジナルグッズとして、飛騨古川の魅力の詰まったご当地Tシャツや伝統和紙である山中和紙による三角提灯などを販売し、地域外へ魅力の発信を行っている。好評につき、今年度より数量限定のネット販売も行っている。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	下呂温泉	所在地	岐阜県下呂市
設置主体	確認様式2-2	管理・運営主体	確認様式2-2
拠点施設の区分	法第二条第2項第二号	広域的特定活動の区分	法第二条第1項第一号ロ(1)
拠点施設データ	令和5年観光入込客数 103.5万人/年 (内県内:37.2万人 県外:66.3万人)		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和5年から令和7年
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 下呂温泉は飛騨川の流域に湧き、日本三名泉の一つである。温泉街には気軽に楽しめる足湯や飲食店、宿泊施設が多数立地しており、毎年100万人近くの観光客でにぎわう「一団地の観光施設」である。また、下呂温泉周辺には温泉施設だけでなく、下呂温泉合掌村や下呂温泉博物館などの飛騨地域の文化や歴史を体験できる施設もある。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 飛騨古川まつり会館を代表とした高山市側と下呂温泉をつなぐ国道41号のバイパス整備と併せて、(仮称)石浦ICと接続する1-A11-002(一)石浦陣屋下切線石浦工区を整備することで、狭隘区間が解消し拠点施設間のアクセス性を向上させることに加え、「下呂温泉」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
当施設は日本三名泉の一つであり、年間を通じ県内外から多くの観光客が訪れている。例年、8月1～4日の4日間で「下呂温泉まつり」が開催される。1日目は、5頭の龍が勇壮に練り歩く龍神火まつりが繰り広げられ、2日目はみこしやサンバパレード、下呂おどり・民謡ながしがあがる。3日目は温泉感謝祭、下呂温泉花火ミュージカル夏公演と下呂おどり、4日目には、サマーフェスティバルin下呂温泉の特別公演が開催される。3日目の花火大会には例年約4万人が訪れ、4日間で多くの人を集客している。花火は異なるテーマにて12月にも数回行われる。また、例年3月～11月末までの期間で地元特産品をお値打ちで提供する「朝市」が行われ、漬物から陶器まで様々なお店が軒を列ねている。 当施設では、R5年3月からR7年8月までに4つの宿泊施設、4つの食事施設がリニューアルオープンし、下呂の昔ながらの雰囲気と飛騨の山脈を一望できる宿泊施設や、鶏ちゃん、高山ラーメンなど名物料理が味わえる食事施設が増加した。これにより「観光旅客に対する宿泊・食事の提供」が拡充され、より一層の集客が見込まれる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	奥飛騨温泉郷	所在地	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷新穂高温泉
設置主体	確認様式2-2	管理・運営主体	確認様式2-2
拠点施設の区分	法第二条第2項第二号	広域的特定活動の区分	法第二条第1項第一号ロ(1)
拠点施設データ	観光入込客数：452千人（内県内:163千人 県外:289千人）		
拠点施設の整備の有無	有	整備期間	令和5年から令和7年
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 奥飛騨温泉郷は岐阜県高山市にある5つの温泉の総称であり、平湯温泉、福地温泉、新平湯温泉、栢尾温泉、新穂高温泉から構成されている。年間約45万人が訪れる主要な観光地であり、観光案内所や飲食店・カフェ、旅館・ホテルが建ち並ぶ大型温泉街として「一団地の観光施設」を形成している。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は一般県道槍ヶ岳公園線がアクセスルートであり、1-A11-003(一)槍ヶ岳公園線中尾工区は幅員狭小・線形不良区間が連続し、安全な通行に支障をきたしているという問題がある。現道拡幅を行うことで、通行の安全性を確保しアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」、「飛騨古川まつり会館」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
当施設は、奥飛騨の雄大な自然を四季折々の景色や高山植物を楽しむことができる観光施設として、年間を通じ県内外から多くの観光客が訪れている。宿泊施設である「槍見の湯 槍見館」はR6年5月に姉妹館「野の花山荘」をリニューアルオープンし、1泊2食付きだけではなく、素泊まりや1泊朝食のプランも新たに追加し「観光旅客に対する宿泊の提供」を行っている。 さらに今年より、温泉郷の新たな魅力発信として、2つの企画が始められた。1つ目は令和7年の6月28日から7月18日までの3週間期間限定で運行した地元案内人によるガイド付きのオープンバス「おくひだマウンテンバス」である。自然を体感するだけでなく、観光地の移動手段としても使用することができる。このようなオープンバスは来年度も運行予定である。2つ目は今年の6月から開始されたE-bike「ナビちゃり」のレンタルである。WEBアプリを使用し、奥飛騨温泉郷の3つのルートから選び、E-bikeで巡るサービスである。 これらの活動により周辺観光施設も含め観光活性化が期待できる。			

(一)石浦陣屋下切線 石浦工区(岐阜県) 事業実施箇所図



(一)槍ヶ岳公園線 中尾工区(岐阜県) 事業実施箇所図

